

平成27年度振興局政策コンペ事業 実績

	事業名	取組概要 事業内容
那賀	<p>那賀が生んだ偉大な芸術家保田龍門と保田春彦 ～保田龍門没後50年を契機として～</p> <p>実施主体 保田龍門没後50年記念事業実行委員会 (紀の川市文化協会、紀の川市、近代美術館、那賀振興局)</p>	<p>保田龍門没後50年を契機に、龍門氏とご子息である春彦氏の父子二代にスポットを当て、那賀地域が生んだ偉人への関心を一層高めた。</p> <p>①那賀地域に所在する両氏の作品展開催 11月21日～29日 499人 ②ゆかりのアーティストを迎えた作品づくりワークショップ開催 11月24日 75人 ③地域に所在する作品を鑑賞する「作品巡り」の実施 11月22日 24人 ④鑑賞スポット等をまとめたマップの作成、ホームページによる情報発信</p>
	<p>川のサイクリングロード魅力発信</p> <p>実施主体 紀の川エリア観光サイクリング推進協議会 (紀の川サイクリングクラブ、JR西日本、和歌山電鐵、紀の里農業協同組合、和歌山線活性化検討委員会、紀の川市、岩出市、那賀振興局)</p>	<p>紀北エリア3振興局(海草・那賀・伊都)協働でサイクリングイベントを開催することにより、紀北エリアの観光サイクリングをPRし、誘客を図った。</p> <p>①3振興局による協働イベントの開催 3月19日 99人 ②女性サイクリストによるサイクリングイベント 7月18日 25人 ②サイクリストの裾野を広げるための入門セミナー開催 7月18日 25人 ③サイクリストへの情報発信(自転車販売店舗へのPR、県外イベントへの出展等)</p>
伊都	<p>ため池サポーター制度 ～地域ぐるみでため池防災訓練～</p> <p>実施主体 橋本市、かつらぎ町及び地元関係者 (地元区、ため池水利組合、自主防災組織、地域住民等)</p>	<p>ため池の管理が困難になる中、防災・減災の観点から地域ぐるみでため池の保全を図るため、ため池の維持や防災訓練に取り組む活動を支援した。</p> <p>①ため池保全活動の取り組みのための勉強会を実施 ②緊急時の水位降下や土のう製作・据置等の防災訓練を実施 3地区 延べ212名の参加 ③草刈や点検等の維持管理活動</p>
日高	<p>軽トラ市で描く、日高七色市場！！</p> <p>実施主体 日高地方軽トラ市推進協議会 (生産者、JA紀州、漁協、各市町商工会、管内各市町、日高振興局等)</p>	<p>住民が親しみやすい軽トラ市を定着させ、日高地方が魅力ある農産品等の宝庫であることをPRするとともに、生産者の販売機会を創出した。</p> <p>①日高地域の各市町で「軽トラ市」をリレー的に実施 10月～3月 計7回 7市町 ②軽トラ市の開催に係る広報活動(チラシ、ポスター、アンケート調査)</p>
西牟婁	<p>地域の特色ある農林水産物の消費拡大・生産拡大 ～農林水産物食材コレクションの活用～</p> <p>実施主体 西牟婁地方農林水産食材コレクション活用協議会 (管内商工会議所、商工会、食材コレクション掲載の生産者団体(JA、JF等)、西牟婁振興局)</p>	<p>西牟婁地域に来なければ食べることができない、特色のある農林水産物を地元の飲食店等で利用してもらい、地元飲食店や農林漁業者の活性化を図る。</p> <p>①地元飲食店等を対象とした試食・商談会の開催 7月7日 7事業者 14品目 40業者来場 12月3日 10事業者 22品目 27業者来場 ②地元飲食店等のPR用パンフ及び冊子の作成</p>
東牟婁	<p>日本の原風景を探して... 古座街道に行く</p> <p>実施主体 古座街道の会 (大辺路刈り開き隊、水のまちづくり推進協議会、古座川街道やどやの会、南紀熊野ジオパークガイドの会、古座川観光案内所、古座観光協会、古座川町、串本町、東牟婁振興局)</p>	<p>古座街道に脚光をあて、ファムツアー・ウォークイベントの実施や広報活動を行い、東牟婁地域に多数の観光客を呼び込んだ。</p> <p>①マップ「熊野中道 古座街道」を作成 ②魅力の情報発信を行うためのファムツアー実施 12月7日～8日 4社 ③日帰りウォークイベント等の実施 2月～3月 4回 延べ115人参加 ④古座街道維持のための道普請の実施 10月12日、1月26日 延べ27人参加</p>